

## 「2020を無駄にしない」

振り返ってみると2020は東京オリンピック開催年ということで、明るいスタートをきったという印象があります。しかし1月後半に、中国武漢での新型コロナウイルスの猛威が報道され、日本にいる私たちも気を付けなければならないと感じていたのもつかの間、すぐに日本でも感染者が出て、様々な感染防止策が取られました。そして3月初旬から突如全国一斉の休校措置、2020は予測不能の時代の到来を実感した一年でした。

新型コロナウイルスの感染により亡くなられた方、休業要請、時間短縮要請で収入が激減した方、多くの犠牲を払いながら、今も全世界の人々が新型コロナウイルスと闘っています。

この一年、私たちは多くの制約の中で生活してきました。気の合う仲間と会話しながらの食事は、今は控えなければなりません。本来なら楽しいはずの時間が失われています。しかし、だからこそ何気ない日常が尊いものだと思えて気づかされました。皆さんは、このたいへんな一年を過ごして多くのことを学んだと思います。そのことをぜひ忘れずに、2021を、そしてその先に続く未来を過ごして行ってほしいと切に思います。



### 【1月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	金		18	月	B 短縮45分授業 三者懇談
2	土		19	火	B 短縮45分授業 三者懇談
3	日		20	水	B 短縮45分授業 三者懇談 第5回マナーアップ運動
4	月		21	木	B 短縮45分授業 三者懇談
5	火		22	金	B 短縮45分授業 三者懇談
6	水	冬季休業終了	23	土	
7	木	A きずなの日 LHR	24	日	
8	金	A	25	月	A 短縮45分授業 三者懇談
9	土		26	火	A 短縮45分授業
10	日		27	水	A 短縮45分授業 大掃除
11	月	成人の日	28	木	前期募集選抜検査(家庭学習日)
12	火	A	29	金	前期募集選抜検査(家庭学習日)
13	水	A	30	土	大学入学共通テスト第一日
14	木	A	31	日	大学入学共通テスト第二日
15	金	まなびの基礎診断 (ベネッセ総合学力テスト 英・国・数)	1	月	B
16	土	ベネッセ総合学力テスト 理・地歴公 大学入学共通テスト第一日	2	火	B
17	日	大学入学共通テスト第二日	3	水	B
			4	木	B
			5	金	B ベネッセ共通テスト対策模試

※ 1/15(金)1/16(土)ベネッセ総合学力テスト… 1/15(金)は特別時間割で英語・国語・数学B、1/16(土)は文系が理科(化学基礎+生物基礎)・現代社会・日本史 B/世界史 B、理系が物理/生物・化学・日本史 B/世界史 B の記述模試です。

※ 2/5(金)2/6(土)ベネッセ共通テスト対策模試…来年の本番を見据えての模試となります。

### 保護者のみなさまへ

昨日はお忙しい中、修学旅行に関する保護者説明会への御出席、誠にありがとうございました。今後も皆様のお知恵とお力をお借りして、生徒たちにとって安全かつ有意義な修学旅行になるよう努めていきたいと考えています。

いよいよ大学入学共通テストが始まります。センター試験と同様マーク方式ではありますが、思考力・判断力が総合的に問われます。そして最も大きく違う点は、どの科目でも設問で読まなければならない情報が圧倒的に多くなっているということです。日頃から速く正確に読むということを心掛けて指導しておりますが、どうぞご家庭におかれましても、新聞を読む習慣作りなど御協力をお願いいたします。

## 願い事 3 回

4 組 副担任 後藤 詠一

2 年次の皆さんこんにちは。11 月から 4 組の副担任になりました後藤です、よろしくお願ひいたします。今年度は 2 年次の授業を持っていないので、ほとんどの人に知られていないと思いますので、顔が知れ渡るように頑張っていきたいと思ひます。

さて、昨年を代表する漢字に「密」という字が選ばれるくらい、昨年はコロナ一色でした。ここまで生活様式が激変するとは、誰も想像していなかったと思ひます。

そんな地上での出来事をよそに、今年も 12 月 13 日から 14 日に日付が変わるころを中心に、ふたご座流星群が出現しました。ふたご座流星群は、1 月のしぶんぎ座流星群、8 月のペルセウス座流星群と並ぶ三大流星群の一つで、毎年この時期ふたご座を中心に、星が四方八方に降るように流れ、多い時で 1 時間当たり 50 個前後の流星が夜空を飾ります。

天文部に所属していた大学時代、この時期は街明かりを避け、東南の方角が開けた土地に出かけていって、寝袋に入り何時間でも流星観測や天体写真の撮影をしていました。一番の思い出は、1 時間に 200 個以上の流れ星の観測です。ピーク時には 10 秒で 5 ~ 6 個と、観測用紙に記録するのが追いつかないくらいに流星が出現し、「流星雨」というのはこういう事を言うんだなど、妙に納得したことを覚えています。

今年度は月も新月に近く、雲も少なく絶好の観測日和になりました。1 時間に 60 個の流れ星が見えるとなると、計算上は平均して 1 分に 1 個のペースで見えることになりませんが、流れ方、方角はランダムなので、立て続けに数個見えることもあれば 10 分以上も見えないことも珍しくありません。しかも、街明かりに負けないくらい明るいものはそれほど多くないので、最低 15 分は我慢すれば見る可能性がありました。しかし、当日はあまりに寒く、鈍った体では外に出るのは 10 分が限界で、結局ネット中継の夜空をコタツで見ながら、流れ星に願ひ事をしていました。時代は進んでいます。

キリスト教では、「時々 神は下界の様子を眺めるために天界を開ける。この時に、天の光が流れ落ちる。だからこの間に願ひごとを唱えれば、その希望は神の耳に届き、神は願ひをかなえてくれる。ただし、開いているのは一瞬。そこで流れ星が出現したと同時に神の耳に達するようにその願ひごとを唱えなければならぬ。」という言い伝えがあるそうです。画面越しの流れ星に願ひ事 3 回唱えても神様はくれそうにありませんね。

流れ星が光っているのは、本当に 1 秒くらいですから、流れ星を見つけた時は「あっ！」で終わってしまうことがほとんどです。その短い間でお願ひ事をするにはどうしたら良いかという、常にお願ひしたい夢とか希望とかを常に心に持っているということはなります。すごく端的に言えば「かなえたい願ひ事があるなら、そのことをいつも考えている！」という事ですね。本当に大切なのは、流れ星に願ひをかけるのではなく、とっさに 3 回言えることができるだけの願ひを持ち続けることですね。

今、皆さんはとっさに 3 回言えるくらいの願ひ事がありますか？もしかしたら今夜、空を見上げたら流れ星が現れてくれるかもしれませんよ。

Money money money